

オープン市場短信 (2005年11月)

2005.11.08

10月のCP市場動向

10月のCPの新規発行は、3兆6千億円弱確認された(除く、ABCP・金融機関発行CP)。中間期末対策で有利子負債の圧縮を行なった事業法人が市場に復帰し、資金調達ニーズの強いリース会社も残高を伸ばしたが、金融機関発行CPやABCPの発行が大きく落ち込んだため、10月末残高は9月末比約2,424億円減少し、20兆132.34億円となった。

電子CPの発行残高は昨年10月以来対前月比増加を続けていたが、1年ぶりに減少となった。10月中の電子CP新規発行企業数は5社、10月末時点の発行登録企業数は373社で、この内既発行企業は319社となっている(合併により登録企業数2社減少)。

発行レートは、年内物と年越し物でレート格差がはっきりし、右肩上がりの順イールドが形成され始めた。「2006年度にかけての量的緩和策解除」に向けて引受サイドの意識が少しずつ強まってきている。

銘柄別の発行レート

格付	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
格付 a-1+	0.003 ~ 0.005%	0.01割れ ~ 0.01台前半	0.01割れ ~ 0.01台前半
格付 a-1(オペ適格)	0.006 ~ 0.01台前半	0.01台前半 ~ 0.005近辺	0.01台前半 ~ 0.005近辺
格付 a-1+以上(リース銘柄)	0.004台 ~ 0.005近辺	0.01近辺 ~	0.01近辺 ~
格付 a-1以上(リース銘柄)	0.01近辺 ~ 0.07台	0.016 ~ 0.10近辺	0.023 ~ 0.14割れ
格付 a-2	0.01台後半 ~ 0.10台前半	0.01台後半 ~ 0.20台近辺	0.01台後半 ~ 0.20台近辺

CP オペ

ABCP 買切りオペは今月も2回オファー(7日・21日)された。オファー金額はいずれも1,000億円。応札は6日が2先で133億円、17日は1先で303億円と、5月26日オファー分から11回連続で札割れとなった。

CP 現先オペは、10月は月中4回の期日ロールが行われた。ディーラーのオペ玉持ち在庫が多かったため、25日オファーのオペには1/5以来8,508億円の応札が集まった。足切レートは、0.002%~0.004%とじり高となった。

10月末のCPオペ残高

ABCP 買切りオペ 403億円

CP 現先オペ 2兆7,613億円

(内資産担保CP 0億円/短期社債・短期外債 19,945億円/資産担保短期債券 7,248億円)

ABCP

10月末のABCPの発行残高は、約5兆4千円と前月より約6,400億円減少、前年同月比でも8,200億円程度減少している。ABCPは企業のバランスシートの改善・債権流動化ニーズの後退により伸び悩みが続いている。ABCPの発行拡大のためには、中堅・中小企業関連案件の増加や低格付け銘柄の流動性向上を図る必要があるが、そのためには組成コストの削減と同時に運用側にもリスクに応じた積極的な対応が望まれる。

現先市場

月中現先レートは、0.004~0.007%のレンジでの出会い。

11月のCP市場動向

11月中のCP償還は約2兆9,500億円と、前年同月（約2兆4,500億円）を5,000億円程度上回っている（除く金融機関発行CP・ABCP）。新規発行は、中旬以降ボーナス資金手当ての発行もあって、期落ちよりも多くなるだろう。一般事業法人では相変わらずショートターム物の発行が多いと思われるが、リース会社は年末越え中心の発行となるだろう。

発行レートは、年内物や1月期日は引き続き低位安定で推移すると思われる。

最上位格銘柄で、0.001~0.015%程度、a-1格で0.006~0.02%台半ばの水準と予想する。

一方、2月以降の期日償還となる案件については、金融政策決定会合（2/8・9日）における量的緩和政策解除の可能性も100%否定しきれないとの警戒感もあって、発行レートは強含みの状態が続くと思われる。

CP オペ

ABCP 買切オペは、先月同様2回のオファーが見込まれる。現先オペに利用していた玉の戻りもあることから、応札は若干増える見通し。

現先オペについては、4回の期日のロールが行われる見込み。ディーラーの手持ち在庫も多く、年越しオペも開始されることから足切レートは強含みとなるだろう。

現先市場

月中現先レートは、T/N・S/Nともに0.003~0.007%、ターム物で0.005~0.008%近辺での出会いを予想。

（松倉）

業種別発行残高内訳

業種	10月末残高	9月末残高	単位: 億円
			増減
事業法人	41,258	35,889	△5,369
その他金融	60,425	57,000	△3,245
金融機関	44,646	49,302	▼4,656
（銀行等	29,238	34,502	▼5,264）
（証券	15,408	14,800	△608）
ABCP	53,983	60,365	▼6,382
計	200,132	202,556	▼2,424

短期社債月末残高 (H15年3月~H17年10月)

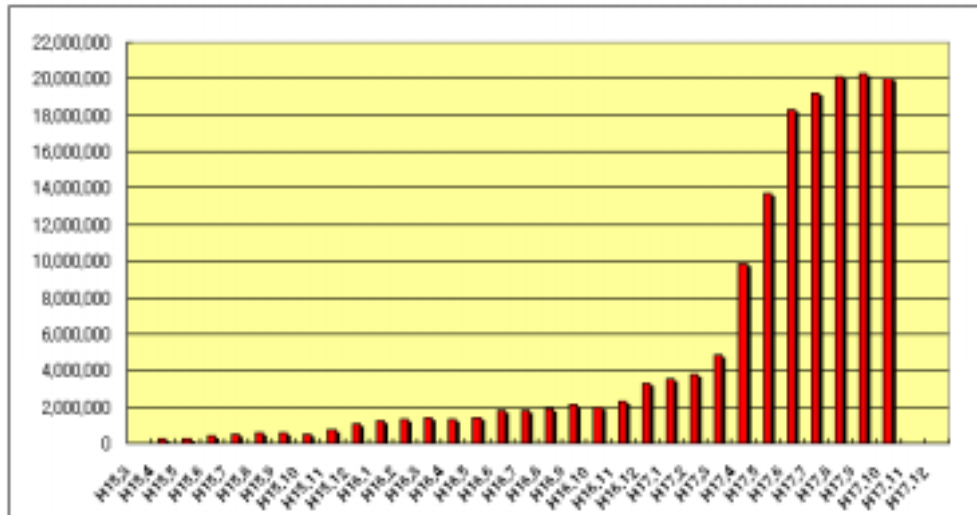
■ 短期社債月末発行残高

10月末

発行残高：20兆132.34億円

発行登録企業：373社（発行実績あり319社）

(単位：百万円)



10月末発行残高ベスト20

	発行企業名	10月末残高	9月末残高
1	株式会社みずほフィナンシャルグループ	20,000.00	18,300.00
2	フォレスト・コーポレーション	9,148.67	10,875.97
3	エイベックス・ファンディング・コーポレーション	5,970.00	8,130.00
4	オリックス株式会社	5,300.00	5,305.00
5	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	4,953.00	4,831.00
6	ダイヤモンドリース株式会社	4,933.00	4,858.00
7	日産自動車株式会社	4,500.00	3,160.00
8	ミレミアム・アセット・ファンディング・コーポレーション	4,406.80	4,442.00
9	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	4,179.00	4,115.00
10	野村證券株式会社	4,020.00	5,040.00
11	住商リース株式会社	3,977.00	3,877.00
12	みずほ証券株式会社	3,251.00	3,255.00
13	株式会社東京三菱銀行	3,247.00	3,379.00
14	三井住友銀行リース株式会社	2,975.00	3,015.00
15	東京リース株式会社	2,878.00	2,881.00
16	興銀リース株式会社	2,713.00	2,739.00
17	UFJセントラルリース株式会社	2,675.00	2,490.00
18	株式会社日産フィナンシャルサービス	2,500.00	2,320.00
19	UFJニコス(日本信販)株式会社	2,370.00	1,670.00
20	アストロ・キャピタル・コーポレーション・トゥー	2,361.00	3,507.53

参考出所 (株)証券保管振替機構